

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和4年11月21日)

- 中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC～境港間)整備促進総決起大会の開催について
【道路企画課】……………2ページ

- 鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム(第2回会議)の開催結果について
【空港港湾課】……………3ページ

- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【道路企画課・道路建設課・河川課・治山砂防課】……………5ページ

県 土 整 備 部

中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 I C～境港間）整備促進総決起大会の開催について

令和 4 年 11 月 21 日
道 路 企 画 課

中国横断自動車道岡山米子線の 4 車線化事業箇所（蒜山 I C～境港間）の早期供用と米子 I C～境港間の早期事業化を国へ訴え掛けるため、県と中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 I C～境港間）整備促進期成同盟会（会長：米子市長）主催による総決起大会を、11 月 8 日（火）に衆議院第 1 議員会館で開催しましたので、その概要を報告します。



1 大会の概要

- 日 時： 令和 4 年 11 月 8 日（火） 午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分
 場 所： 衆議院第 1 議員会館 B 1 階 大会議室
 主 催： 鳥取県、中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 I C～境港間）整備促進期成同盟会
 共 催： 中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 I C～境港間）整備促進鳥取県議会議員連盟、中国横断自動車道岡山米子線全線 4 車線化促進市議会連盟、鳥取県西部地域振興協議会、中海・宍道湖・大山圏域市長会、境港管理組合議会
 主な来賓： 国 会 議 員： 赤澤衆議院議員、湯原衆議院議員、舞立参議院議員
 国 土 交 通 省： 橋本高速道路課長、伊藤中国地整道路部長
 NEXCO 西日本： 後藤常務執行役員、真中国支社長
 県 議 会 議 員： 斉木会長、内田幹事長、森幹事、野坂幹事、内田議員、松田議員、鹿島議員、安田議員、浜田会計幹事 計 9 名
 会 員： 平井知事、伊木市長（会長）ほか県西部自治体の首長・議長、鳥取県西部経済団体等 計 約 80 名

2 主な発言要旨

赤澤 衆議院議員	米子・境港間の高規格道路は、まずは凍結解除しなければならないが、地元の自治体が声をまとめてくれているので、全力で実現を急ぎたい。県民の生活利便の向上を図るうえでも、あるいは、いざ災害が起きたときにも避難路とか、物資を運ぶ道路としても、命の道である道路整備ほど大事なことはない。鳥取県からの地方創生を実現するためにも着実に前に進めたい。
湯原 衆議院議員	山陰道の北条道路の整備を行っているが、令和 8 年で県内区間が全線開通となる。いよいよ米子と境港をつなぐ高規格道路を事業化していかなければならない。観光、物流、防災面で地域住民に非常にメリットが出てくる。皆さんとともにワンボイスで力を合わせて頑張っていきたい。
舞立 参議院議員	今日、補正予算が概算決定される。昨年並みの水準が公共事業で確保されているが、当初とあわせて昨年並みだと、やはり物価高騰の中で、どうしても事業量が目減りしてしまう。年末の当初予算の編成に向けて、今一度公共事業の一層の増額を主張して、米子・境港間の高速化がさらに進むことを、しっかりと皆様とともに頑張っていきたい。
丹羽 国土交通省道路局長（代読）	本年 3 月に最後の事業化区間であった溝口・米子間の 4 車線化を事業化したところ。1 日も早い全線 4 車線化を目指す。米子・境港間の高規格道路は、関係自治体と連携して道路の計画の具体化に向けた検討を行っている。この道路の実現に向けて、引き続き関係者の皆さんとともに取り組んでいく。
三輪 境港商工会議所副会頭	地球温暖化の影響もあり、豪雨などの自然災害が多く発生しているため、山陰の 27 自治体と緊急時における廃棄物処理の協定を結んでいる。被災地から迅速に廃棄物を回収して処理をする必要があり、米子・境港間の高規格道路は必要不可欠だ。早期の事業着手をお願いしたい。
田中 米子商工会議所青年部部長	高規格道路の整備によって、当地の産業の生産性向上や移住定住を促進し、交流人口、居住人口の増大が図れる。岡山米子線の全線 4 車線化が実現すると、物流、防災、観光など、様々な分野において好影響をもたらすことが期待されるので、早期の供用開始を強く要望する。

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム (第2回会議)の開催結果について

令和4年11月21日
空港港湾課

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム(第2回会議)が民間主導で開催されましたので、結果について報告します。

1 開催結果

- (1) 日時：令和4年10月27日(木) 午後2時30分から午後4時30分まで
- (2) 場所：鳥取砂丘コナン空港 国際線ターミナルビル 2階(出国待合室)
- (3) 構成員：【座長】鳥取大学教授 谷本圭志、【航空関連】ANAホールディングス(株)、ANAあきんど(株)、全日本空輸(株)、【交通事業者】西日本旅客鉄道(株)米子支社、日ノ丸自動車(株)、日本交通(株)(新規入会員)、鳥取ハイヤー共同組合、ニッポンレンタカー中国(株)、【観光団体・民間会社】鳥取商工会議所、鳥取県商工会連合会、(一社)鳥取市観光コンベンション協会、(一社)麒麟のまち観光局、(有)コナン・クリエイション(北栄町観光協会)、鳥取空港空の駅オヤジの会、鳥取空港空の駅女子会
【オブザーバー】鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、湯梨浜町、北栄町、鳥取県(空港港湾課、地域交通政策課、観光戦略課)【事務局・調査会社】鳥取空港ビル(株)、八千代エンジニアリング(株) (以上、順不同・名簿順：出席者32名)
- (4) 結果概要：各種アンケート調査結果、携帯GPSデータの移動実態分析結果、事業者ヒアリング結果、出口戦略の方向性についての説明の後、意見交換が行われ、「(5) 主な意見」に記載のとおり様々な意見をいただいたが、出口戦略の方向性については承認を得た。
- (5) 主な意見：
 - レンタカーと非レンタカーの利用者を比較すると、非レンタカーの利用者は観光地を十分に回り切れていない。このことから、レンタカー以外の二次交通の潜在需要が多いともいえる。
 - 第一段階の方法として、既存路線の活用も進められればと思う。
 - アンケート調査で賀露(鳥取港に近い)を知らない人が多かった。賀露路線はどこへ行くか分からない。
 - タクシー配車GOアプリが流行っているが、鳥取の場合は予約があっても配車できる車がないという事業者が多い。タクシーの台数に対しドライバーが半数もおらず、車両待機が難しい。ドライバーは高齢という状況である。GOアプリで予約しても30分しないと配車できず、苦情がくる心配がある。
 - キャッシュレスについては、かなりの投資が必要となる。経済的に厳しい会社が10社中半数ある。
 - バスには補助金があるが、タクシーには補助金の制度がない。
 - 出口戦略の考え方、進め方、やろうとすることは良いが、リスクをどのように分担するかが最後の最後の出口で課題となると思う。
 - 利用者支援として、ターゲットは観光客になるが県内の方もいる。まずは来てもらう、お金を落としてもらう、滞在時間を増やしてもらうことが一番だと思う。
 - 情報プラットフォームの提案はそのとおりで、情報の作り方、見せ方など大事にしながら、いかに連携を図っていくか大事になる。
 - 一つの鳥取チームとして、何ができるのか出し合う会議にしてほしい。民間企業としては損益分岐点、利益が大事である。利益の出るサポートを考えてほしい。絵に描いた餅は駄目。次回会議では実際のプランが見たい。
 - 大阪万博2025の開催で、海外からの来訪者もターゲットにすると良い。関空インで鳥取に向かわせる。

2 今後の予定

会議意見を踏まえ、出口戦略の実施に向けて役割分担・実施範囲を関係者間で協議し、取組内容、スケジュール、実施主体等をまとめた「(仮称)鳥取空港航空機利用・地域交通戦略」を策定する。令和4年度最後の第3回会議(令和5年1月頃)では、同戦略を確認するとともに令和5年度以降の展開を協議する。

3 今回会議で示された資料抜粋



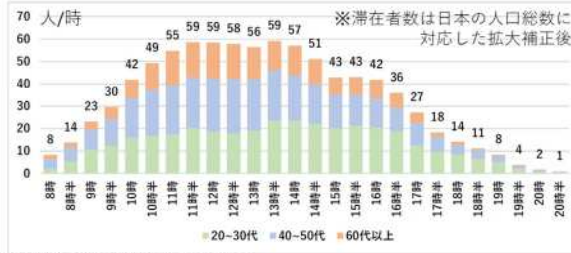
図-1 取組みの方向性のイメージ(出口戦略)

・関東からの来訪者の時間帯別年代別滞在者数、時間帯別年代構成比率、県外来訪者の比率

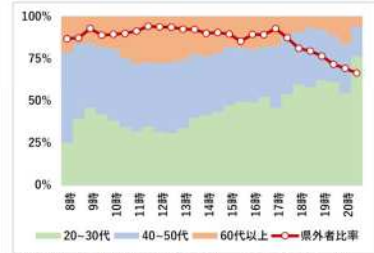
●鳥取砂丘

- 他の観光地と比較し、関東来訪者による滞在者数が顕著に多い。
- 午前11時から午後14時台での滞在が多い。
- 20～30代、40～50代の比率が高い。
- 県外比率は90%以上。

■時間帯別年代別滞在者数（土日祝の1日平均）



■年代構成比、県外来訪者比



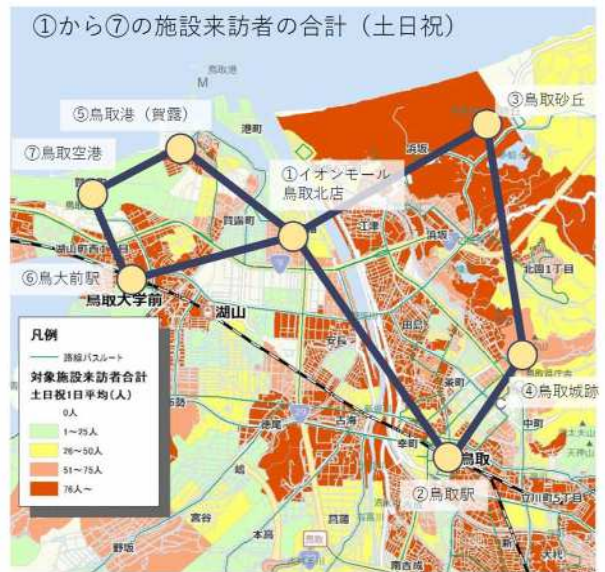
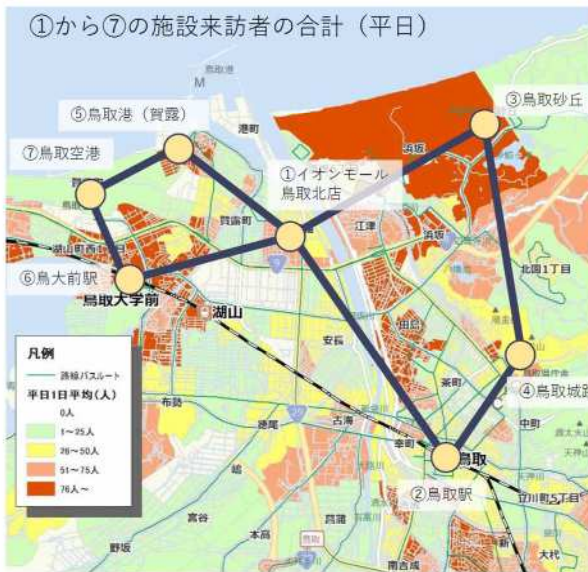
※対象範囲は砂丘全体及び周辺の美術館等の観光地を含むエリア

※県外来訪者比は関東以外の近隣府県も含む

図-2 携帯 GPS データの分析状況（県内東部～中部の観光地における関東来訪者の時間帯別滞在推移）

・①から⑦の施設来訪者の合計（町字別の1日平均来訪者数）

- 平日、土日祝ともに8の字の路線沿線から各施設への来訪が見られる



※注：今回会議後、図中の施設名に番号を追記。

図-3 携帯 GPS データの分析状況（鳥取空港周辺的主要な目的地への来訪者の周辺居住地分布）

●情報プラットフォーム構築、8の字バス運行を軸に、各種取組みを展開

今後、対応が想定される事業者から実現性、課題等を確認

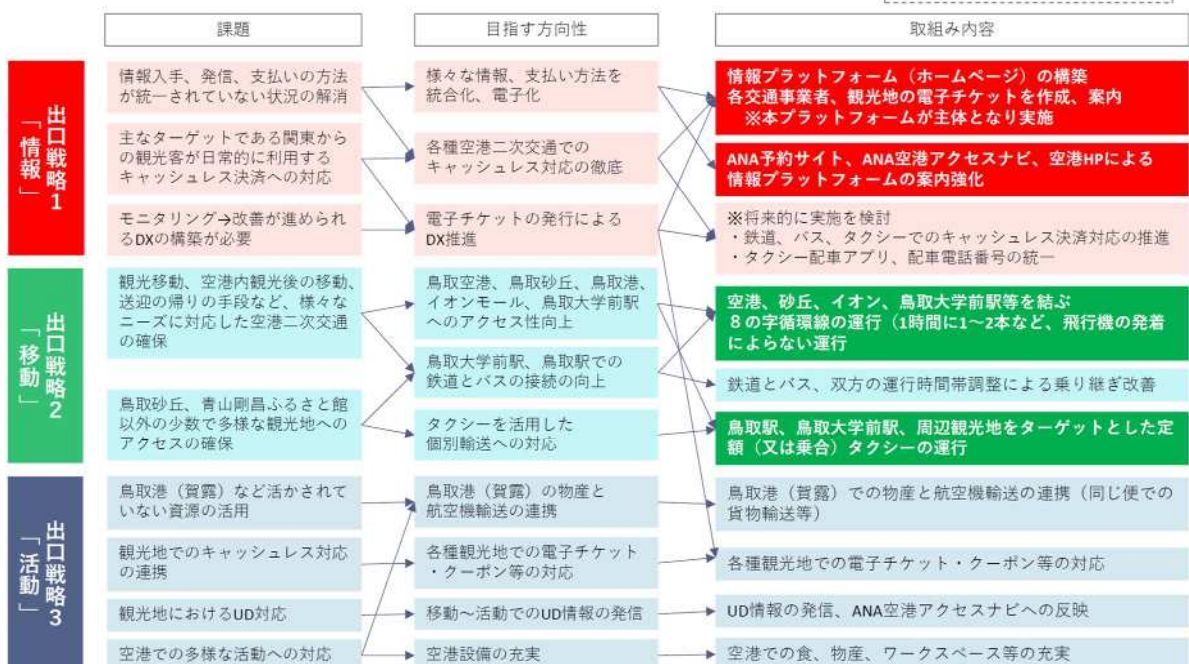


図-4 取組み施策の全体像（課題～方向性～取組み内容）

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		県土整備部					
主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	入札方式
道路企画課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	県道淀江琴浦線(大名 橋)外橋梁補修工事(補 助)	西伯郡 大山町 神原外	株式会社みたこ土建 代表取締役 美田 耕一郎	98,560,000円 (予定価格) 103,716,800円	令和4年10月13日 ～ 令和5年3月24日	令和4年10月12日	制限付 一般競争入札 (4社)
道路企画課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	県道大滝白水線(大坂工 区)改良工事(3工区)(防 災安全交付金)	西伯郡 伯耆町 大坂	美保テクノス株式会社 代表取締役社長 野津 健市	128,150,000円 (予定価格) 139,230,300円	令和4年10月4日 ～ 令和5年3月24日	令和4年10月3日	制限付 一般競争入札 (5社)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路建設課	国道178号(岩美道路)改良工事(6工区)(補助)(国補正)	岩美郡 岩美町 陸上	国道178号(岩美道路)改良工事(6工区)(補助)(国補正) 原田・シユケン特定建設工事共同体 代表者 株式会社原田建設 代表取締役 原田 寛	(当初契約額) 237,270,000円 (第1回変更後契約額) 270,014,800円 (変更額) 〔 32,744,800円 〕	令和4年2月7日 ～ 令和4年10月31日	(当初契約年月日) 令和4年2月7日 (第1回変更契約年月日) 令和4年10月12日	- 週休2日モデル工事の実施及びICT施工に関する追加費用を計上したことによる工事費の増
道路建設課	国道178号(岩美道路)改良工事(7工区)(補助)(国補正)	岩美郡 岩美町 陸上	国道178号(岩美道路)改良工事(7工区)(補助)(国補正) 田中組・尾崎工務店特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社田中組 代表取締役 田中 弘文	(当初契約額) 254,870,000円 (第1回変更後契約額) 262,959,400円 (変更額) 〔 8,089,400円 〕	令和4年2月14日 ～ 令和4年10月31日 (変更後工期) 令和4年11月30日	(当初契約年月日) 令和4年2月14日 (第1回変更契約年月日) 令和4年10月19日	- 他工事工程との調整により橋梁付属物の設置を追加したことによる工事費の増及び工期の延伸
道路建設課 〔鳥取県土整備事務所〕	国道178号(岩美道路)牧谷トンネル舗装工事(補助)(国補正)	岩美郡 岩美町 牧谷	株式会社藤原組 取締役社長 藤原 正	(当初契約額) 162,910,000円	令和4年2月4日 ～ 令和4年10月24日 (変更後工期) 令和4年11月28日	(当初契約年月日) 令和4年2月4日 (第1回変更契約年月日) 令和4年10月19日	- 他工事と施工時期を調整したことによる工期の延伸
河川課 〔鳥取県土整備事務所〕	塩見川広域河川改修工事(2工区)(国補正)	鳥取市 福部町 細川	株式会社藤原組 取締役社長 藤原 正	(当初契約額) 168,960,000円 (第1回変更後契約額) 199,127,500円 (変更額) 〔 30,167,500円 〕	令和4年2月16日 ～ 令和4年11月7日	(当初契約年月日) 令和4年2月16日 (第1回変更契約年月日) 令和4年10月25日	- 地盤改良工において、事前配合試験結果により、固化材の添加量が増加したこと等による工事費の増

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
治山砂防課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	大原地区林地荒廃防止 施設災害復旧工事(3年 災第1号)(1工区)	倉吉市 大原	有限会社前嶋組 代表取締役 前嶋 辰雄	(当初契約額) 117,700,000円	令和3年11月17日 ～ 令和4年8月22日	(当初契約年月日) 令和3年11月17日	-
					(変更後工期) 令和4年10月31日	(第1回変更契約年月日) 令和4年8月16日	本工事(1工区(土工))と 同一の区域内で施工す る2工区(法面)と斜面で の上下作業とならないよ う工程調整を行ったこと による工期延伸
治山砂防課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	大原地区林地荒廃防止 施設災害復旧工事(3年 災第1号)(2工区)	倉吉市 大原	株式会社ユウブ 代表取締役社長 小柴 雅央	(第2回変更後契約額) 114,499,000円 〔 (変更額) △3,201,000円 〕		(第2回変更契約年月日) 令和4年10月26日	残土処分において、流用 先での整地作業を取り止 めたことによる工事費の 減
				(当初契約額) 114,400,000円	令和4年1月15日 ～ 令和4年10月17日	(当初契約年月日) 令和3年12月1日	-
					(変更後工期) 令和4年12月16日	(第1回変更契約年月日) 令和4年10月3日	本工事と同一の区域内 で施工する1工区(土工) との上下作業とならない よう工程調整を行ったこ とによる工期延伸